

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について

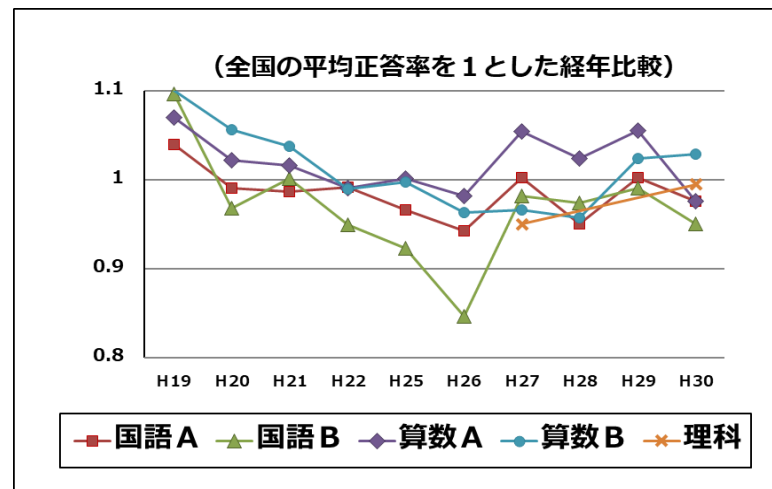
平成 30 年 9 月 25 日(火)
枚方市立蹉跎西小学校

文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。



< 学力調査結果の概要 >

○国語 A について

→「言語についての知識・理解・技能」の観点で全国平均を下回り、そのことが「書くこと」の領域の課題として表われました。

○国語 B について

→「話す・聞く能力」の観点では、全国平均を上回っている一方、「読む能力」の観点が大きく全国平均を下回り、多くの情報を理解したり、処理したりする力に課題が見られました。

○算数 A について

→「数量や図形についての知識・理解」の観点が全国平均を下回り、基本的な計算や知識・理解に課題が見られました。

○算数 B について

→「数学的な考え方」の観点で、全国平均を上回りました。また、これまで本校で課題となっていた記述式の問題においても、全国平均を上回ることができました。

○理科について

→「観察・実験の技能」の観点で全国平均を大きく上回ることができました。一方で、知識を活用して、条件の変化に対応する力に課題が見られました。

※本調査は、平成 19 年度から実施されています。

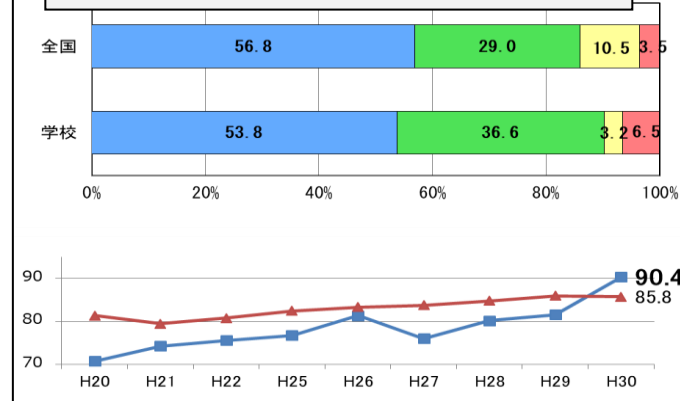
※平成 23 年度は中止(東日本大震災)、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

質問紙調査の結果

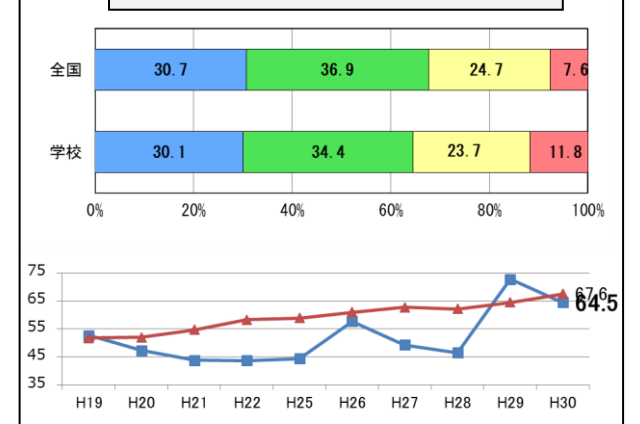
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



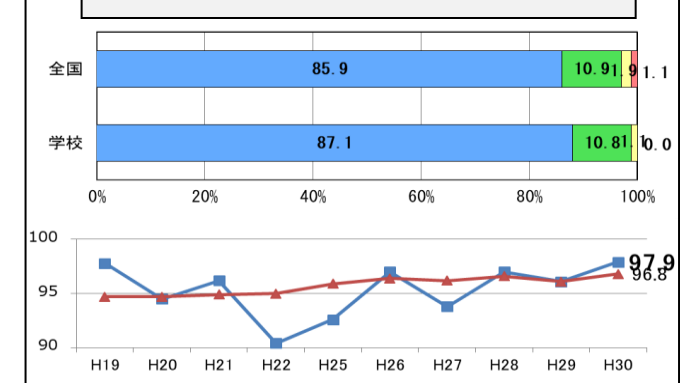
①算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている



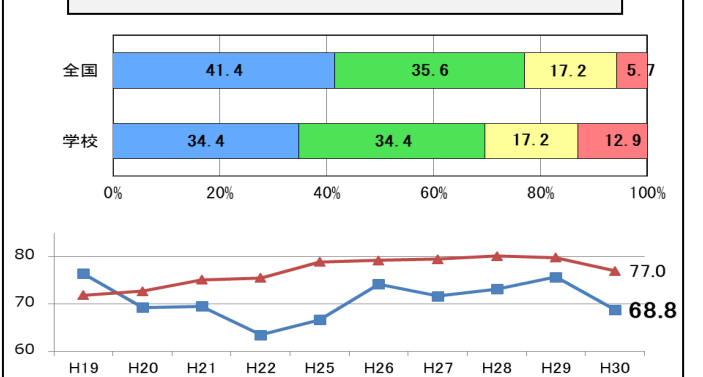
②自分で計画を立てて勉強している



③いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



④毎日、同じくらいの時刻にねている



< 質問紙調査結果の概要 >

○授業改善について(①について) →昨年度の結果では課題に挙げられていた項目ですが、全国平均を大きく上回りました。算数 B 問題も全国平均を上回ったことから、本校での授業改善の取り組みの成果が表れたと思われます。

○家庭学習について(②について) →「家庭学習の手引き」を各家庭に配付し、家庭と連携しながら家庭学習を行っていますが、昨年度を下回り課題が見られました。

○学校生活について(③について) →道徳や学級での指導、ご家庭でのご支援によって、昨年度より上回りました。友達など他人を大切にする気持ちが育っています。

○生活習慣について(④について) →昨年度よりも大きく下回り、基本的な生活習慣に課題が見られました。他の質問事項の分析からもスマートフォンやゲーム、動画の普及により寝る時間が乱れてきていることが表われています。

まとめ

結果から算数 B が全国平均を上回ったことが、今年度の成果として挙げられます。これは、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善から、自分の解き方や考え方を記述・説明させる指導の効果が表れたと考えられます。また、学力向上に向けて、「ラーニング・スポット(自学自習プリント)の推進」や、家庭学習のための「家庭学習の手引きの配付」「自学自習ノートの推進」等の効果が表れてきたと思われます。一方で、児童を取り巻く社会の変化から生活習慣の乱れが見られました。生活習慣は、児童の学習への意欲や集中力に影響があると言われています。ご家庭においてもご支援よろしくお願いします。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語A>（主に知識に関する問題）

成果や課題があった設問

【成果】

問題の概要（見出し）

【オムレツのページ】

オムレツ

調理時間約10分

材料（一人分）

卵……………2個

バター……………5グラム

塩……………少々

こしょう……………少々

作り方

1 卵の殻に卵を割り入れ、塩きはでし、塩、こしょうで味をつける。

2 直径18cmほどの小さめのフライパンを強火にかけ、温まったら弱火にしてバターを入れる。バターが溶ける前に卵を一気に流し入れる。

3 フライパンを前後に動かしながら、さいばしで肉をえぐうように手早く混ぜる。このとき、火が入り過ぎないように、ときどきフライパンを火からおろす。

4 食感が半熟（硬）になってきたら、フライパンの手前側の卵を向こう側へ折り返す。

5 向こう側の卵を手前側に折り返す。

6 卵のどじ目が下になるようにお皿に移したらでき上がり。

ポイント

○ 卵をよく混ぜほぐすためには強火で蛋を焼くのがコツ。煮過ぎると身がよくなり、でき上がるときにむらがなくなります。

○ フライパンに卵を入れるときにチーズを入れると、チーズオムレツを作ることができます。

【問い】

山本さんと川上さんは、「オムレツのページ」を読んで、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあと」のページをよく読んで、あとの（問い）に答えよう。

【問い】

山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をよく読んで、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあと」のページをよく読んで、あとの（問い）に答えよう。

【問い】

山本さんと川上さんは、オムレツをうまく作るために、「オムレツのページ」をよく読んで、家でオムレツを作りました。次の「オムレツのページ」と「オムレツを作ったあと」のページをよく読んで、あとの（問い）に答えよう。

【課題】

問題の概要（見出し）

【問い】

中西さんは、特にこれに感づいた文として―――部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その理由を書きなさい。

1 登場人物の行動から、コウタのあてている様子が伝わってくるから。

2 景色や様子を食べる表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。

3 音を食べる表現から、山の静けさと海の静けさが伝わってくるから。

4 登場人物の会話から、おたけいを思う気持ちが伝わってくるから。

	正答率	無解答率
本校	76.1	0.0
全国	73.9	0.2

（考察）

与えられた資料の中から、必要な情報を捉える問題です。

調べ活動を通して、自分たちが必要な情報を取り出して、新聞や発表など表現する活動への指導の成果が表れたと思われます。また、この問題は料理のレシピを資料としているので、家庭科の学習における調理実習への興味も大きく関連していると思われます。

引き続き、調べ活動や表現活動を大切にすると共に、他教科との関連を図り、国語科で身につけたことを活用できるように指導していきます。

	正答率	無解答率
本校	68.5	0.0
全国	74.0	0.3

（考察）

登場人物の心情について、情景描写をもとに捉える問題です。

全国平均を下回った理由として、内容を捉えることはできていますが、その理由や根拠を考えたり、記述したりすることができていないと考えられます。

今後、国語の指導の中で、登場人物の心情や情景描写を読み取る中で、必ず理由や根拠を考えて話したり、記述したりする指導を心がける必要性が示唆されました。

<国語B>（主に活用に関する問題）

成果や課題があった設問

【成果】

問題の概要（見出し）

1

【話し合いの様子の一部】の取書は―――部のように思えるところについて、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その理由を書きなさい。

1 話し合いの中心を明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。

2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。

3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。

4 発言回数に気を付けながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

【課題】

問題の概要（見出し）

【問い】

中西さんは、特にこれに感づいた文として―――部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その理由を書きなさい。

1 登場人物の行動から、コウタのあてている様子が伝わってくるから。

2 景色や様子を食べる表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。

3 音を食べる表現から、山の静けさと海の静けさが伝わってくるから。

4 登場人物の会話から、おたけいを思う気持ちが伝わってくるから。

	正答率	無解答率
本校	81.5	0.0
全国	77.5	0.6

（考察）

計画的に話し合うために、司会の役割について捉える問題です。

国語のA問題でも見られるように、文章の内容を捉えることができています。さらに、本校での「話し合い」への取り組みや「話し方・聞き方の目安」の定着の成果が出たため、話し合いにおける役割や話し方への理解が高かったと考えられます。

引き続き、「話し方・聞き方の目安」を徹底し、活発な話し合いをしていく必要性が示唆されました。

	正答率	無解答率
本校	42.4	23.9
全国	52.3	11.9

（考察）

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読む問題です。

こうした問題は、学力調査で多く問われる傾向にあり、相手の意図や目的に応じることがわかります。授業改善の方向性として、児童に記述をさせたり、発表させたりするときには、表現するだけでなく、伝える相手の意図や目的を考えさせることが必要だと示唆されました。

問題の概要（見出し）

4

(1) まもるさんの気づきをもとに、正しく操作し^{はたら}ているものはどれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1

ろ紙
ろうと

海水がろうとを満たすまで注ぐようにする。

2

ろ紙
ろうと

折ったろ紙の最も下の部分にガラス棒^{びやうぼう}を当てて注ぐようにする。

3

ろ紙
ろうと

折ったときにろうとよりも大きくなるろ紙を使って、折ったろ紙を満たすまで海水を注ぐようにする。

4

ろ紙
ろうと

折ったろ紙の高さをこえないように海水を注ぐようにする。

	正答率	無解答率
本校	81.5	0.0
全国	71.1	0.5

(考察)

ろ過の適切な操作方法についての問題です。

重要語句や実験器具の適切な使い方など、基本的な知識を問う問題については、他の問題においても全国平均よりも上回りました。これは、単元の最後に学習したことを自分でノートにまとめる成果が表れたと考えられます。

今後も観察や実験などの実習体験を大切にし、自分達の実習を振り返って自分でまとめる指導を続けていきます。

問題の概要（見出し）

4

ゆかりさんたちは、魚を家で飼育しようとしたところ、水そうに入れる海水が足りないのを、海水と同じこさの食塩水をつくることにしました。

調べてみたら、海水 400 mL には 12g の食塩がとけているそうだよ。

ゆかりさんは、400 mL の水を用意して、12g の食塩をどかすことにしました。

あれ？400 mL の水に食塩を 12g とかしたら、できた食塩水は 400 mL より多くなるのではないかな？

そこで、できた食塩水の量をメスリンダーではかってみると、408 mL になっていました。

これだと、海水 408 mL に 12g の食塩がとけていることになって、海水と同じこさになっていないね。

400 mL よりも量が増えたということは、重さはどうなるのかな。水 400 mL の重さは、400g だったよ。

(3) このときにできた食塩水の重さはどうなっていますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1

400g になる。

2

408g になる。

3

412g になる。

4

420g になる。

	正答率	無解答率
本校	30.4	1.1
全国	42.7	1.3

(考察)

物を溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適応させる問題です。

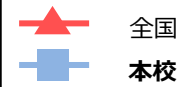
複数の情報があるときに、その中から必要な情報を選び取ることに課題が見られました。体積と重さの 2 つの情報があるときには、重さの情報を抜き出して考える必要があります。

今後、自分の知識と情報を結び付け、活用していけるように指導していく必要性が示唆されました。

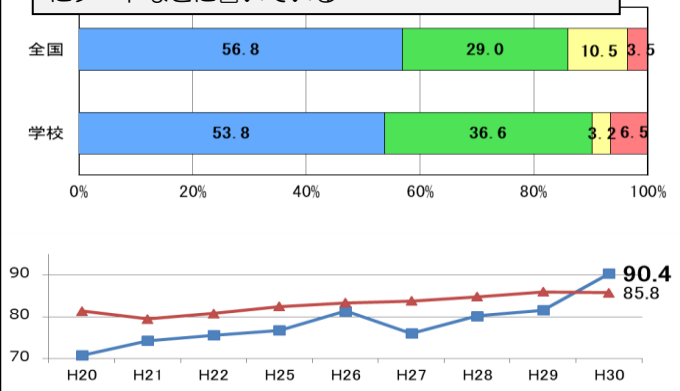
教科に関する調査

【成果のあった項目】

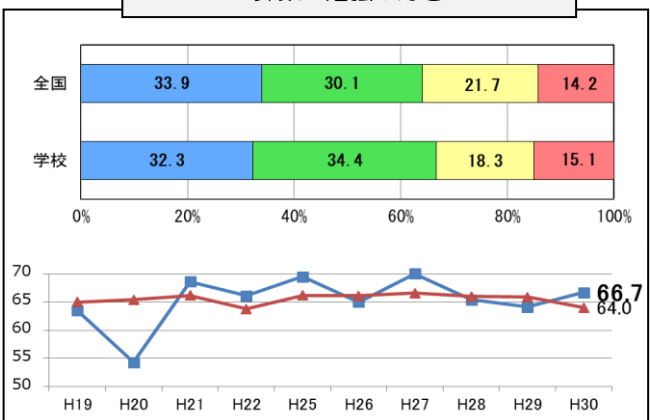
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合もあります。



算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている

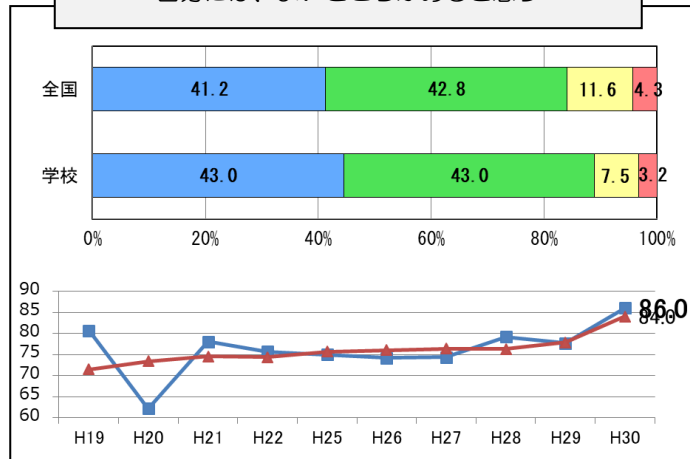


算数の勉強が好き



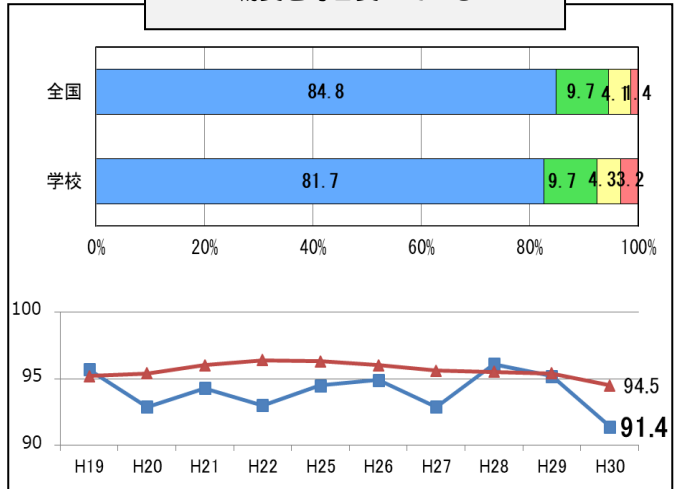
（考察）学習においては、「算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートなどに書いている」「算数の勉強は好き」の肯定的回答が昨年度を上回りました。これは、「主体的・対話的で深い学び」に向けての授業改善によって自分の考え方や解き方をノートに記述したり、説明したりすることを意識した本校での取り組み、指導の効果が表れてきたと考えられます。しかし、「算数の勉強は好き」の項目では、未だ、算数が好きではない児童が 3 割ほどいる現状から、学校は、これからも児童が興味・関心が持てるように教材や授業改善を行う必要性が示唆されました。また、生活面においては、「自分には、よいところがあると思う」の肯定的回答が昨年を上回っていることから、道徳や学級での指導の効果が出ていると思われます。

自分には、よいところがあると思う

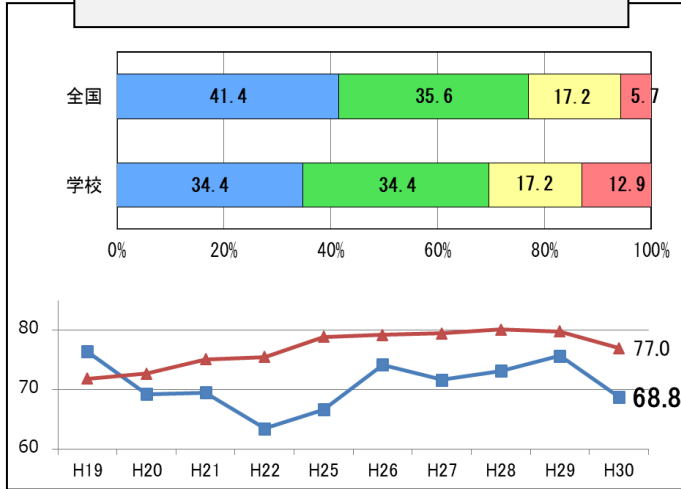


【課題が残った項目】

朝食を毎日食べている



毎日、同じくらいの時刻にねている



（考察）

学習においては、「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないかを考える」が昨年度及び全国平均を下回ったことから、学校と家庭が協力して、学んだことを生活の中でいかしていく習慣をつける必要性が示唆されました。普段の生活の中でお子さんに「なぜ」「どうして」を問い、学校での学びを生活の中でいかし、児童の学力が生きる力となるようにしていきたいと思います。

また、生活においては、「朝食を毎日食べている」と「毎日、同じくらいの時刻にねている」の項目では、昨年度より下回りました。他の質問項目からスマートフォン、ゲームの普及や動画の視聴が増えていることが原因と考えられるので、家庭でスマートフォンやテレビ、インターネットなどの使用時間や視聴時間に決まりをつくり、就寝時間を確保してください。また、朝食は学習に向かう集中力、思考力に影響します。規則正しい生活を送ることをご家庭で意識していただくことで、児童の学習時間の確保や集中力・思考力を高めることができます。ご支援よろしく願います。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

（１）授業改善について

「主体的・対話的で深い学び」に向けて知識・技能の習得（input）と自分の考え方や解き方の説明や記述（output）を意識した授業改善を進めていきます。また、本校では、校内研究に「特別の教科『道徳』」に取り組んでおります。児童がよりよい生き方ができるように研究を重ね、指導にいかしていきたいと思います。

さらに、本校では、学力向上の観点から、今年度より個別指導の充実を目指しています。20 分休憩や給食の配膳時間、個人懇談期間の放課後に個別指導を行い、『みんなができる。みんながわかる。』を実現していきます。

（２）学習規律について

チーム蹉跎西小学校として、全職員で指導方法を共有し、「枚方スタンダード」や本校の「話し方・聞き方の目安」の定着を目指します。児童が落ち着いて授業ができる環境を整え、授業に集中できるよう取り組んでいきます。

また、朝学習では、曜日を指定して、算数の基礎計算・漢字学習・読書・国語、算数の B 問題に対応した思考力を必要とする記述式の問題を学校として統一して行うことで、基礎から応用へ総合的に学力をつけていく習慣をつけていきます。

（３）家庭学習について

「家庭学習の手引き」に基づき、宿題の定着を引き続き図っていきます。各ご家庭でのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

中でも、枚方市では児童に自学自習力を身に付けさせることを重点的に行っております。3 年生～6 年生では、週 2 回自主学習に取り組み、学年が上がるにつれて学習の質が上がるように指導しているところです。また、「ラーニングスポット（自学自習プリント）」の充実を図り、児童が自主的に勉強するよう指導していきます。さらに、今年度も毎週火曜日・木曜日・金曜日に放課後自習教室「やる気ング」を行い、自習力を促進していきます。